

パソコンを操作していたら、突然、「あなたのコンピュータにウイルスが見つかりました」と大手ソフトウェア開発会社のロゴを思わせる警告画面が表示された。慌てて画面に表示された電話番号に連絡したところ、「遠隔操作で修復する」と指示され、言われるままに操作したら、警告画面は消えた。修復費用として電子マネーで5万円を支払うよう言われたが、不審だ。

60歳代 男性

パソコンの画面上に、すぐに対処しないと危険な状態にあるかのような偽の警告を表示し、セキュリティ対策のサポート料などと称して、電子マネーなどの金銭を支払わせる事業者に関する相談が寄せられています。電子マネーを購入してコード番号を伝えると、「コード入力を間違えましたね、この電子マネーは使用できなくなりました。もう一度買ってきてください」「またエラーです。すぐ買い直しに行ってください」「入力ミスしたお金は返金されます。安心してください」などと言い、次々と購入させる手口も見られます。

しかし、実際には消費者のパソコンがウイルス感染しているといった事実はありません。警告画面は偽物ですので、電話をかけるよう求める表示を見ても絶対に連絡をしないでください。

偽の警告画面は、キーボード上の「Ctrl」「Alt」「Del」の三つのキーを同時に押して「タスクマネージャー」を起動させ、ウェブサイトを見るブラウザソフトを選択。その上で画面の「タスクを終了」ボタンを押せば、閉じることができます。

電子マネーを購入させてそのコード番号を連絡させることは、典型的な詐欺の手口です。このような支払い方法には応じないでください。

困ったときは、自治体の消費生活相談窓口にご相談ください。